

(再開 午前10時35分)

**議長 (勝山 正)**

休憩前に引き続き会議を開きます。

6番 丸山邦久 議員。

(「はい、議長。6番。」の声あり)

(6番 丸山邦久 議員 登壇)

## 1. 高齢者の一人暮らし世帯の見守りについて

**6番 丸山邦久 議員**

それでは、2項目にわたって質問をさせていただきます。

1項目目、高齢者の一人暮らし世帯の見守りについてであります。

先日、一人暮らしの高齢者の方からインフルエンザに罹患して、40度以上の熱を出して救急搬送されたということを聞きました。携帯電話で救急車を依頼したが、非常に将来に不安を感じると話されていました。

警察庁の発表によりますと、今年1月から6月に自宅で死亡した一人暮らしの人は全国で3万7,227人、そのうち65歳以上の高齢者は2万8,330人であると発表がありました。

10年ほど前になりますが、当時65歳くらいの一人暮らしの男性が自宅で亡くなったことがありました。元々背が高く、体格の非常に良い人でありましたが、体が小さくなって85歳以上に私には見えませんでした。たまたま私はその前15年間ぐらいこちらにいませんでしたので、15年ぶりに見てそう感じたわけで、毎日見るとそうは感じなかったかもしれないですが、人間は生活状態によってこんなにも変わるのかと驚いた記憶がございます。本人の意向によるかもしれないが、手を差し伸べきれなかった行政に疑問を感じたのも事実であります。

これとは別に、ある一人暮らしの女性は、朝刊が取り込まれていないことに近所の方が気づき、亡くなってすぐに発見されたこともありました。

また、この通告書を書いた後ですが思い出しましたが、新聞が1週間以上取られてない状態だったので、その地区の人におかしいんじゃないのって言ったら、いつものことだからって片付けられて、実は中で亡くなっていたということもありました。

こうやって考えると、男性の方が一人暮らしで大変なのかなと思ってしまうわけですが、日本の年金制度というのは実に女性に不利にできています。そもそも今の年金制度は、女性が一人で生活することを想定して設計されていません。女性の単身高齢者世帯は、生活困窮世帯になる可能性が非常に高いということも言えます。また、高齢者に限ったことではなく、現在40代の就職氷河期世代は未婚、非正規社員が多く、20年後には社会問題化する可能性が非常に高いと言えます。

私、事業をしまして、当時の大学生のアルバイトは本当に就職が難しかった。早稲田の政治経済学部についていた学生がなかなか就職が決まらない。こんなに就職って大変なのかなと思った経験もがございます。

こういう20年後にも社会問題化する可能性が高いことについて、今から対策を考えておく必要があるのではないかと私は考えております。

そこで質問をさせていただきます。

1点目です。木島平に一人暮らしの高齢者世帯が何世帯あるのか。男性女性別にはどうなっているのか、答弁をお願いします。

**議長 (勝山 正)**

日墓村長。

**村長 (日墓正博)**

一人暮らしの高齢世帯については全国的な問題であり、村でもこれからますます大きな課題になると考えております。公的な支援を更に充実しなければならないと考えますが、地域の中での見守りなどコミュニティを維持することも大事だと考えております。

現状について担当課長に答弁をさせます。

#### **議長（勝山 正）**

梅寄民生課長。

#### **民生課長（梅寄伸一）**

村長の答弁に補足し、お答えさせていただきます。

村では、毎年1月1日現在で要援護台帳を整備しております。令和6年1月1日現在で65歳以上の高齢独居世帯数は318世帯であり、男性は150世帯、女性は168世帯となっています。

1月以降の死亡や施設入所などありますが、概ね件数は上記のとおりと把握しています。

#### **議長（勝山 正）**

丸山議員。

#### **6番 丸山邦久 議員**

それでは2項目目に移ります。

今「318世帯ある」と答弁をいただいたわけではありますが、こういった一人暮らし世帯について、どのような見守りをしているのか。また、問題点はないのか。お答えをお願いします。

#### **議長（勝山 正）**

梅寄民生課長。

#### **民生課長（梅寄伸一）**

見守り、問題点のご質問でございます。

先ほど申し上げました要援護台帳を各地区民生委員と共有し、見守りと情報提供等をお願いしているほか、村では、高齢者の状態を把握し、近い将来、介護が必要になる危険性がないかを確認するため、毎年75歳以上の方を対象に、基本チェックリストによる確認を行っており、その結果をもとに、保健師や看護師、管理栄養士が訪問するなどして、状態の確認や保健指導などを行っております。

また、介護保険等の福祉サービスを利用していない75歳以上の独居高齢者宅を、毎月、役場職員と社会福祉協議会職員が訪問し状態の把握を行うとともに、その情報をもとに、高齢者等サービス調整会議を毎月開催しているほか、地域包括支援センターと社協ケアマネによるケア会議などを通じて、個々の状態の情報共有と、必要な支援等に向けた検討を行っております。

また、緊急時等への備えとして、65歳以上の独居高齢世帯または70歳以上の高齢世帯で、希望する世帯へ緊急通報装置を貸与しているほか、同様の世帯を対象に、緊急連絡先や医療情報等を救急隊に提供する救急医療情報キットを、民生委員や村職員を通じてお配りしております。

このような取組を通じて、高齢者等の見守りや万が一に備えた対応を行っております。

課題としては、生活スタイルの変化や居住環境の多様化などにより、ご近所の目が届きにくくなっていることによる見守り活動や情報の減少が挙げられます。災害と同じで、公助には限界があるため、地域住民同士の共助の意識が今後ますます重要になってくると思われれます。

また、対象となる独居高齢者自身の意識の啓発も重要な課題と考えております。お元気なうちからご自身に万が一のことがあった場合に備えて、緊急連絡先を記載しておくというようなことや、どの

ような医療・介護を受け、どのような最期を迎えたいかなどについて考える人生会議の取組などご自身の将来を考える啓発活動にも、今後、力を入れていきたいと考えております。

**議長（勝山 正）**

丸山議員。

**6番 丸山邦久 議員**

今、生活スタイルが変化して難しい状況になりつつあるというお話でしたが、最近、新聞を取る家庭が非常に減ってきているので、さっき申し上げたように、隣近所で今日新聞取られてないとか、いっぱい溜まっているなというふうに把握が、なかなかできなくなってくると思うんですね。

そんなことで、今、課長がこれからの問題点について言われましたけど、本当にこれから個人の状態を把握するのはなかなか難しいですよ。これも3番目入っちゃいますけど、そういう状態を踏まえて、今後どういう制度設計をしていくかということをお伺いしたいなと思います。

**議長（勝山 正）**

梅寄民生課長。

**民生課長（梅寄伸一）**

それでは、次の3番目ということでお答えをさせていただきたいと思いますが、先ほど来申し上げました取組を今後も村として実施していく中で、リスクの高い独居高齢世帯を中心とした見守り等、状況把握を継続していきたいと考えております。

また、行政の取組には限界があることなどから、地域での日頃の付き合いや見守り、声掛け等による助け合いをぜひ絶やすことなく、継続させていただきたいと考えております。

その中で、村では先ほど申し上げた人生会議などの取組をPRする中で、今は他人事でもいつかは必ず訪れる老後のことを今自分のこととして思い描き、計画いただくことへの取組を周知する中で、村は、その計画、ご自分の意思に沿った老後をお送りするお手伝いをしていければと考えております。

**議長（勝山 正）**

丸山議員。

**6番 丸山邦久 議員**

生活スタイルの変化とかとても難しい状況に入ってくることで、そういう傾向にあるのは全くそのとおりだと思う。

その見守られている本人の生活スタイルもあると思うんですけど、村として、もっと重点的っていいですか、さっき私申し上げた60代の男性は、私が見ても明らかに健康状態がおかしいと思ったからさっき申し上げたんですけど、その人に対してちゃんとケアをしていたかどうかというのは少し疑わしいんですよ。

また、ほかのところ行って聞くと、そちらは一人暮らしじゃなくて夫婦2人で生活されているんですけど、保健師が2人で来たって言いました。お茶飲んで半日いたと言われました。半日が何時間のことを言うのか私ははっきりわかりませんが、そういう面で、重点的にケアしなきゃいけないところの把握とかが少し足りないのではないのかなと思っていますが、この辺の自己評価はいかがですか。

**議長（勝山 正）**

梅寄民生課長。

### **民生課長（梅寄伸一）**

村では、村民の皆様にも年1回の健康管理健診をおすすめしております。その健診の結果をもとに、先ほど議員が言われましたような健康状態にちょっと問題があるというか、そういうような状況の皆さんにつきましては、保健師、管理栄養士等がお邪魔して、その人の生活スタイルとか健康状態を確認させていただき取組もやっております。

その中で、継続的にこの人は見守っていかなければいけないなっていう方がいらっしゃれば、その後からずっと引き続き、そんなような対応をしていくということを今行っておりますので、そういうような方がいらっしゃるという情報を隣近所の方なり、また、民生委員の方からいただければ、そういうこともやっていきたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

### **議長（勝山 正）**

丸山議員。

### **6番 丸山邦久 議員**

以前、私この一般質問で、先憂後楽（先に憂いて後で楽をする、楽しむ）、これは大事なんではないかと。これ私、実は経営者の勉強会で習った言葉がだったので、経営者が心がけなければいけないことなのかなと実は思っていました。でも、最近よくよく調べてみると、これは為政者の取るべき姿勢であるということがわかりました。為政者というのは言ってみれば、村の皆さんですよ。その人たちが村民や人民に先駆けて心配して、そして、村民や人民が豊かに暮らした後、楽をしたり楽しむ、これが本当の先憂後楽らしいのですね。

どうも、村民の方がいっぱい心配しているような気もしないわけでもないのですよ。だから、先のことをもっと心配していただいて、全ては無理だろうけども、問題を解決した後、楽をするような、そういう姿勢で日々取り組んでいただきたいと思います。

私は、これ村長に言っておりますので、村長の今後そういうふうになっていくかどうかの答弁をお願いします。

### **議長（勝山 正）**

日墓村長。

### **村長（日墓正博）**

担当課長の方から申し上げましたが、やっぱり行政にもなかなか限界があるという中で、これからはやはり地域の中でしっかりとお互いにお互いを気遣う、そういう社会づくりが大事だろうと思えます。現在、そういう関係がなかなか作れなくなっている、それだからこそ、むしろそういう取組について村の方としてもお願いしていくというか、そういう村づくりに向けて力を入れて取り組まなければならない時期になっているのかなと思えます。

ちなみに、先ほど担当課長の方から申し上げましたが、今回ご質問いただいたものについては、高齢者についてのご意見・ご質問が中心でしたが、民生委員の皆さんには、年齢に関わらず、健康それから生活等について不安を抱えている皆さんの情報をできるだけ村の方につなげていただいて、みんなが支えるような村づくりに向けて、村民みんなが協力していく、そんなふうにご希望したいと思います。

### **議長（勝山 正）**

丸山議員。

## 2. 木島平村の主体性について

### 6番 丸山邦久 議員

次の質問に該当するような答弁をいただきましたので、2項目目にいきたいと思います。

木島平村の主体性についてであります。

議員になって5年半になりますが、この村の最大の問題点の一つは、主体性のなさだと私は感じております。

かつて村長の口癖のように言っていた「観光は村の大事な産業である」という言葉とは、裏腹と言っただけですが、あっさり外部の企業に、スキー場も馬曲温泉もカヤの平も任せてしまった。ふるさと納税も外部企業に任せた。ファームス木島平も計画案を聞く限りでは外部企業に委託するような話が進んでいるように思います。誠に主体性に欠けるというのが私の実感であります。

その理由は、村の運営能力のなさに起因していると思います。外部企業に依存してばかりいては、村には運営能力や経営能力や、ましてやいろんな産業についてのノウハウが身につかない。産業も育たないし、ことあるごとに施設管理費などの費用を払って運営をしていかなざるを得ません。まことに主体性がないと感じるわけであります。

7月に先進地域の視察をしてみましたが、これらの自治体は主体性を持って取り組んでいるように感じました。

岡山県奈義町では「住民6,000人を維持する」をスローガンというかビジョンとして掲げて、子育て支援の充実や「しごとコンビニ」による就業支援を充実した結果、子育て世代が移住し、もちろん移住対策もしっかりやられていると思いますけれども、そういう方たちが移住して合計特殊出生率は2019年に2.95を記録しています。そして、高い水準を今も維持している。

また、岡山県西粟倉村では「100年の森構想」を掲げ、地域おこし協力隊の起業が相次ぎ、1,400人の村でローカルベンチャー企業、47社という会社になってないともあるので47団体が正解かもしれない。47団体で256名の雇用を創出しています。

また、兵庫県養父市は「国家戦略特区」の認定を受けて、中山間地農業の規制緩和を続けている。これ私報告書を書きましたので、村長もぜひ読んでいただくと良いと思います。

翻ってわが村の状況を見ると、さっき述べたように、人任せ、人の知恵・能力に頼った他力本願が多いと思います。

そこで質問をいたします。

スキー場、馬曲温泉、カヤの平の経営を外部企業に任せてみて、運営状況は、村長が当初期待したものと比較していかなるものでしょうか。私としては、期待値より低いと感じているわけですが、村長の実感はいかがでしょうか。

### 議長（勝山 正）

日墓村長。

### 村長（日墓正博）

私とすれば、営利を目的とした事業は本来行政ではなく、民間が行うべきではないかと考えております。観光産業はレジャーの多様化、そしてまた、人口減少により厳しい状況ではありますが、村の大事な産業であることに変わりはありません。維持管理が精一杯な村よりも、民間による維持発展を期待しているものであります。

確かに、現時点ではご質問ありましたように、期待していたとおりは言えない。ご指摘のとおり厳しい状況ではありますが、民間の活力を生かして今後の発展に期待をしております。

### 議長（勝山 正）

丸山議員。

**6番 丸山邦久 議員**

今後の発展に期待する、どのぐらい期待できますかね。村長が答弁して、やっぱり村民も聞いているわけですよ。実際、期待するのはごくごく結構ですけども、今の状況を見て、村長の期待どおりにいくかどうかと言ったら、私は確率がちょっと少ないと思います。

村長が期待している、村長の思いのようになる確率ってどの程度でしょうか。

**議長（勝山 正）**

日碁村長。

**村長（日碁正博）**

先ほど申し上げましたが、現時点では期待以上のものではないと感じております。

その中で、やはり民間でありますので、経営方針等を見直ししながら、言ってみれば、行政よりも小回りが利くところでしっかりとそのまま力を発揮していただきたいと考えております。

**議長（勝山 正）**

丸山議員。

**6番 丸山邦久 議員**

以前の一般質問で、村長が「私は現実主義者」と答えられたことがあります。あまりにも意外な答弁だったので、頭が真っ白になって、次の質問に行くのがなかなか大変でしたけれども、現実主義というのは、もっと現実を見るべきではないですか。いかがでしょう。

**議長（勝山 正）**

日碁村長。

**村長（日碁正博）**

現実主義というのはいろんな意味があるというふうに思いますが、村の財政状況、それからまた、先ほど申し上げましたが、言ってみれば、将来的な施設の投資等を考えれば、村がこれ以上維持するのは厳しいと。それが大きな現実でありますので、その辺はご理解いただきたいと思っております。

**議長（勝山 正）**

丸山議員。

**6番 丸山邦久 議員**

先ほど経営方針の見直しをしてもらって言われたように思ったんです。これは、企業に対してそういうことを図ったということでしょうか。

**議長（勝山 正）**

日碁村長。

**村長（日碁正博）**

先ほども何回も申し上げましたが、現時点では期待どおりというかかなり厳しい状況だと認識しております。その辺はこれからしっかりと頑張りたい。それは私どもとしても希望しております。

**議長（勝山 正）**

丸山議員。

**6番 丸山邦久 議員**

ちょっと答えになってないんですよ。「経営方針の見直しをしてもらおう」って、さっき言われたんじゃないですか。今、そのことについて私質問しましたが、答えられていますか。答えてないでしょ。ちゃんと答えていただきたいと思います。

**議長（勝山 正）**

日墓村長。

**村長（日墓正博）**

それについては以前も申し上げましたが、それぞれの企業と村の方の要望等を伝えながら、その中で企業がしっかりと力を発揮していただくように、村として今要望しているものは要望しているということでもあります。

**議長（勝山 正）**

丸山議員。

**6番 丸山邦久 議員**

優しい質問をしようと心掛けたのですが、だんだんそうじゃなくなってきちゃうと困っちゃうんですが。

それでは、それらの企業がどういう経営をこれからしていくってことを把握されていますか。いかがでしょう。把握されているかどうかだけで結構です。

**議長（勝山 正）**

湯本産業課長。

**産業課長（湯本寿男）**

それぞれの企業の経営状況の把握ということでございます。

スキー場を運営していただいている企業については、施設を譲渡した関係で、毎年決算状況の報告をいただいております。また、お話出ています馬曲温泉ですとかカヤの平の状況についても、利用状況なども含めて情報共有はさせていただいております。

ただ、深いところの経営状況の把握というところまでは行政は把握をしておりません。

**議長（勝山 正）**

丸山議員。

**6番 丸山邦久 議員**

それでは、8月にあった経営方針発表会で発表されていたことは皆さん把握しているっていうわけですし、それらがちゃんと守られていると認識されていますか。産業課長お願いします。

**議長（勝山 正）**

湯本産業課長。

**産業課長（湯本寿男）**

大変申し訳ございません。8月の経営方針発表会というのは・・・すいません、具体的にもう一度おっしゃっていただけますか。

**議長（勝山 正）**

丸山議員。

**6番 丸山邦久 議員**

経営方針の発表会あったんですよ。たしか役場の職員も来ていたように思うのだけど、それについて産業課長はきちんと把握されて、言われたことが実行されているかどうかはわかっていますかということです。

**議長（勝山 正）**

湯本産業課長。

**産業課長（湯本寿男）**

その発表会について、私は当日別の会議がありまして出席をしておりませんが、どういう状況かというところは把握しているところであります。ただ、スキー場のお話をされていると思うのですけれども、それに基づいて今シーズンの運営方針になっている、今現在進んでいるというところで認識をしております。

**議長（勝山 正）**

丸山議員。

**6番 丸山邦久 議員**

私、以前も言いましたけども、詳しいことは何も決定してないことを発表するための発表会だったのではないかと、以前言ったことがあると思います。

ただ、いろんな方針を示されたんですよ。例えばポールバーンを再開するとか、ほかにもいろいろあるけどあんまり言っちゃいけないから言わないけど。それについては、あまりスキー場の業者が納得するような方向にはきてないように感じるのです。

まず、今何が起こっているかっていうことの把握が今ひとつできてないように思うのですよ。スキー場だけじゃない、馬曲もカヤの平も。そこをやっぱりきちっと把握していただかないと、困っている人は誰を頼っていけばいいのか。それやっぱり村民のことを考えるのは村長であり、村じゃないんですかね。その前のことはいいです。でも、困っている人が誰を頼ればいいのか、それについて村長をどう考えるか、答弁をお願いしたいと思います。

**議長（勝山 正）**

丸山議員いいですか。当初の通告の中身とだいぶずれてきている部分もあるんですよ。内容を修正して・・・

**6番 丸山邦久 議員**

わかっているって言っているから聞いているんですよ。



**議長（勝山 正）**

質問の内容に徹してもらいたいというのは、そこら辺の質問のことに対しての把握をしっかりとどうのこうも言うんだけど、スキー場の経営の中身について、周りの業者さんとの関係も今お話されていると思うんで。

**6番 丸山邦久 議員**

スキー場って言われたのはそちらの方ですよ。僕はスキー場なんてことを一言も言ってない。

いや、スキー場のことを言われているんだと思うと言ったのは、多分産業課長であって、私はスキー場のことなんか一言も言ってないですよ。

**議長（勝山 正）**

質問ではスキー場のことは入っています。

**6番 丸山邦久 議員**

それは入っていますけど。

だから、経営内容のことについてはそれは言えないのはわかるけども、でも、そっちの方に舵を切ったのは行政側の方ですよ。だから、それについて質問しちゃいけないというのはおかしい話じゃないですか。

**議長（勝山 正）**

もう一度、その辺の中身に返ってみて、もう一度質問し直すというか、内容を精査していただきたいなというふうに思います。

**6番 丸山邦久 議員**

分かりました。分かったような、分からないような話であります。

ということで、もっと状況を見ていただきたいということで2項目目にまいります。

村長を含め職員から「近隣の状況を見て」とか「近隣と比較して」とよく聞きます。これでは突出していいですか、際立って良い村にはなり得ないのではないかと思います。主体性を持って差別化を図り、よそではやってない新規性を求める。こういう方向に舵を切ることで新しい産業が起これる村の発展に繋がると思うが、村長の考えはいかがですか。

**議長（勝山 正）**

日碁村長。

**村長（日碁正博）**

村民の福利が近隣と比較して劣らないようにするというのは大事だと考えています。しかし、どこに重点を置くかで、それぞれ市町村ごとに差が出てくるだろうと思います。また、国保とか介護保険など村民の負担が伴うものについては、やっぱり近隣との比較は重要だと考えております。

その中、道の駅改修に当たっては、新たな産業の起点となるような計画をしたいと考えております。また、創業支援事業の充実により、新たな企業の継続的な支援により新たな産業化を図りたいと考えております。

**議長（勝山 正）**

丸山議員。

## 6番 丸山邦久 議員

よそと同じことをしてうまくいったケースって私はあんまり知らないんですよ。さっき言った岡山県奈義町も西粟倉村も養父市もみんなほかと違うことをやっているんです。

確かに気持ちはわかりますよ。周りと同じようにやっていたら非難されないから。だけど、そこは主体性を持って、この村はこれからこういう方向でいくんだっていう主体性が僕は必要ではないかって思っているんです。その主体性がないからこういう質問をせざるを得ないわけで。村長は、今、この村主体性のある運営になっていると考えていますか。

## 議長（勝山 正）

日墓村長。

## 村長（日墓正博）

ご質問がよく理解できないんですが、先ほど申し上げましたように、近隣との比較は大事であります。やはり、その中にそれぞれの市町村の独自の考え方を出すのも大事だろうと思います。

そんな意味で言えば、高校生の医療費の無償化については、村は県の中でも早く取り組んだと思いますし、ピロリ菌の中学生の検査などについても村で独自に取り組んでおります。これらについては、やはり子育て支援を充実したいという村の考え方というか、言ってみれば、私の考え方を反映させた独自の施策だと思えます。それがどのぐらいインパクトが何か突出しているのかっていうと、その辺はいろいろ捉え方は違うだろうと思いますが、全く近隣と足並みを揃えるだけではないということとはご理解いただきたいと思えます。

## 議長（勝山 正）

丸山議員。

## 6番 丸山邦久 議員

ピロリ菌とか今いろいろおっしゃいましたけども、それってわが村だけが取り組んでいるわけではないように思います。

3点目の質問に入ります。

これ一番重要なところで、ぜひ村長にお答えいただきたいと思いますが、村長がこれだけは実現したいと考えていることは何ですか。これは主体性を持って、これだけは実現したいと思っていることは何でしょうか。答弁をお願いします。

## 議長（勝山 正）

日墓村長。

## 村長（日墓正博）

これについてもかなり漠然とした質問であります。第7次の総合戦略にも一番に掲げている少子化対策、少子化については何とか歯止めをかけたいと考えております。全国的な課題でもあり、はっきり言って決め手が見つからない、そういう状況でもありますが、そしてまた、短期的に結果が出るものではありません。ただ、村の将来にとっては本当に大きな重大な課題だと考えております。現時点からしっかりと取り組みをしなければならぬと思います。まずは、若者の村外流出を抑制するため、賃貸住宅の整備など住宅政策を、これまでの子育て支援策加えて新たな取組として行っていきたいと考えております。

## 議長（勝山 正）

丸山議員。

## 6番 丸山邦久 議員

ご答弁ありがとうございました。

それはどんどん進めていっていただきたいと思います。

私はさっきも言いました、議員になって5年半判経ちますけども、議員になりたての頃は、木島平村に行ったことがあるっていうよその議員がいたんですね。一つは、確か投票率の高さで視察に来た。もう一つは、何を隠そうこの西栗倉村の今ローカルベンチャーの指揮を執っている萩原課長、この方は木島平に行ったことがあると言った。

ぜひ、木島平が先進地域になって、よそからどんどん見学に来るような村にしてもらいたいと僕は思っているんですけども、今の答弁を聞く限りは、期待はできないような気がします。村長が指導力を発揮して主体性を持って、それでそういったものを作っていただきたいし、また、よそが取り組んでいる問題だけじゃなくて、この村はこういう方針で生きていくんだっていうものをやっぱり作り出していただくのがやっぱり村長の使命ではないかなと思います。いかがですか。

## 議長（勝山 正）

日墓村長。

## 村長（日墓正博）

また、ご質問というよりもむしろもっと頑張れというご意見だと思います。

先ほど申し上げました、若者が定住して、そしてまた、若い皆さんに喜んで移住してもらおう、住んでもらおう、そんな村づくりを目指してまいりたいと考えております。

## 議長（勝山 正）

以上で、丸山邦久議員の質問は終わります。

（終了 午前11時13分）

## 議長（勝山 正）

ここで、暫時休憩します。

再開は、午前11時25分からとします。

（休憩 午前11時13分）